

【教育目標】

進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.7

令和2年6月5日
中央台東小学校
校長 林 和 樹

自分の頭と心で気づき・考え、自ら行動・実践する。

－「ウイズコロナ」の社会で、心豊かに生き抜くために－

6月1日からの学校再開、あつと言う間の一週間でした。当たり前のことですが、やっぱり、校舎・教室・校庭に子どもたちの元気な声と姿があふれている。これが「学校の日常」だとつくづく思います。改めて、これまでの子どもたちの頑張り、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

「3密」「ソーシャルディスタンス」「PCR検査」「アフター・コロナ」次々登場する新しい言葉。「ウイズコロナ」まで登場しています。新型コロナウイルスとの共存？ 何とも厄介な問題です。

さて、朝の登校は子どもたちの大切な「学びの場」です。上級生が下級生を気遣いながら、時間を守り安全に登校しています。しかし、「ウイズコロナ」では、登校班の班長は前の班との距離を詰め過ぎないように歩く速度に気をつけます。昇降口が混んでいれば立ち止まり待たなければなりません。次の班のために、下駄箱では素早く靴を履き替え、通過する思いやりも大切です。昇降口は「3密」を避けるため、状況を判断、適切に行動する学習・実践の場となっています。

毎朝の登校風景・昇降口の様子を、子どもたちが「学校での新しい生活様式」をどの程度身につけているかを測る「ものさし」にしたいと思います。しかし、まだまだ小学生。友達に会えば、走り寄って楽しくおしゃべりをしたいという気持ちも分かります。今後も、あせらずに根気よく指導を繰り返しながら、自らの頭・心を使い「感じ・考え・行動」できる力「ウイズコロナ」の社会において、心豊かに「生き抜く力」を育てていきたいと思ひます。

「朝の登校時間」の適正化が図れました！

年度途中での、登校時間の再指導・調整につきまして、たいへんご迷惑をおかけいたしました。今朝、学校前の信号を、午前7時32分に最初の班が通過。最後の班が、昇降口に入ったのは午前7時42分。学校で指導した「午前7時40分～45分到着」を見事に達成することができました。各家庭において、調整いただいたお陰と感謝申し上げます。ゆとりをもって、安全に登校できるように指導してまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。



学校再開後の初めての休日。ゆっくりと休養・リフレッシュを！！

段階的に、あわてず・ゆっくりな「スタート」を心がけましたが、子どもたちが集まれば、友達と一緒にだと、やはり張り切って頑張る姿が見られました。校舎内を見て回ると、さすが東小キッズと感心させられますが、「無理してないかな？」と気になる子も。早くも熱中症が心配されるほどに気温も上昇。どの子も疲れがたまっているはずですよ。

緊急事態宣言が解除され、久しぶりにちょっと外出をと考えているご家庭もあるかと思いますが、来週、元気に登校できるように「休養・リフレッシュ」をお願いします。

【引き続き、毎朝の検温・健康観察の徹底をお願いします。】

学校における「感染予防対策の最も重要な基本は、一人一人の体調管理」だと考えています。発熱・風邪症状（咳・鼻水・頭痛・悪寒・腹痛・倦怠感等）元気がなくいつもと様子が違うなど、気になる場合は無理をさせず、引き続き、自宅での休養・経過観察をぜひお願いします。

なお、同居する方々の体調管理にもご留意いただき、登校させるか悩む場合はご相談ください。